【資料１】説明資料

令和8年度第1回ものづくり振興会議

１．令和8年度ものづくりアクションプラン事業進捗

Ⅰ　ものづくり産業支援センターの活動状況　・・・　p2

Ⅱ　補助支援制度の進捗状況　・・・　p5

Ⅲ　その他支援活動の取組状況　・・・　p9

２．三菱マヒンドラ農機の支援状況　・・・　p15

３．第6期アクションプラン(2028-2030)について・・・　p16

令和8年度のものづくりアクションプラン事業

5期アクションプランでは「変化に強い持続可能な企業づくり」を目標に、以下の活動に取り組んでいる。

Ⅰ　ものづくり産業支援センターの活動

1. きめ細やかな企業訪問
2. 「松江ものづくり.net」の活用

Ⅱ　補助支援制度

【指針１】企業の基盤強化・生産性向上支援

① 設備導入支援
② デジタル化支援
③ 環境負荷軽減活動支援

【指針２】人材確保・育成・定着支援

① 人材育成・確保支援
② 職場環境改善支援

【指針３】新市場開拓支援

① 販路開拓支援
② 新製品・新技術開発支援

【指針４】小規模企業者支援

① 小規模企業者支援

Ⅲ　支援活動

1. 人材確保への取組
   ① ものづくり関心向上啓発支援事業
   ② 外国人材雇用相談窓口
   ③ その他人材確保に向けた取組
2. 産官学金連携推進への取組
   ① 産官学金連携推進
   ② 「MATSUE起業エコシステム」構築
3. 創業・事業承継支援への取組
   ① 創業支援の取組
   ② 事業承継支援の取組
   ③ 「MATSUE起業エコシステム」構築
4. その他の取組
   ① 脱炭素推進への取組
   ② 海外連携推進への取組
   ③ IT活用アドバイザー派遣の取組
   ④ 製造業×IT企業連携

Ⅰ ものづくり産業支援センターの活動状況

「きめ細やかな企業訪問」の進捗状況①

- 令和8年10月20日時点で企業訪問件数は682件、相談件数は719件
- 今年度ブラッシュアップした補助内容を中心に制度周知を行った。

令和8年10月20日時点

	目標	実績	進捗率
企業訪問件数	1,200件	682件	56.8%
相談件数	1,000件	719件	71.9%

取組内容

■ 補助支援制度の周知活動
令和8年4月10日に補助支援制度説明会を実施し、51人が参加。
（26社、12支援団体等）
説明会実施後には市内製造業者（289社）を直接訪問し、
補助支援制度の周知を実施。（令和8年5月中に完了）

■ ビジネスマッチング参加案内
「ビジネスマッチング商談・展示会2026 in 境港」の参加案内

■ 補助支援制度活用フォロー

■ 企業の状況確認

今後の取組

■ 補助支援制度活用・実績報告フォロー

■ 企業の状況確認

■ 松江ものづくり.netの掲載情報確認

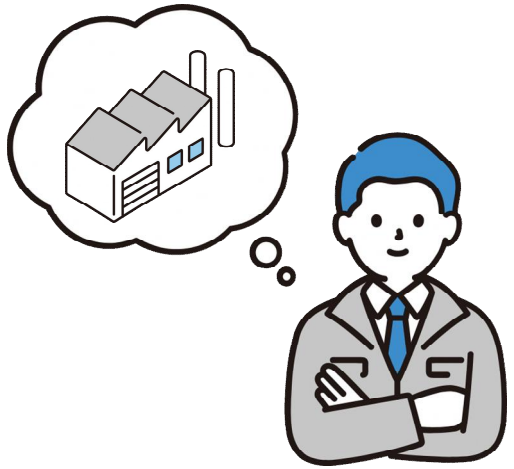
補助支援制度説明会の様子



「きめ細やかな企業訪問」の進捗状況②

- 企業訪問・相談対応を通じて、企業が抱える様々な課題を把握するとともに、課題解決に向けた支援を行った。

主な相談・支援事例



①新商品開発に関する相談
新商品の開発に関する相談を受け、試作品の課題を確認。より精度の高い製造方法を提案するとともに、専門事業者への確認を行った。また、開発に活用できる補助金制度を案内した。

②3S活動による現場改善支援
整理整頓の見直しや安全対策など、製造現場の改善に関する相談を受け、改善事例の紹介、他社見学の支援を実施した。

③事業承継に関する相談
事業終了に伴う承継先探しの相談を受け、複数企業への打診を実施。最終的に他地域の事業者へ承継する方向となり、支援を終了した。

④企業間マッチングに関する相談
樹脂系産業廃棄物の有効活用について相談を受け、複数の関連企業に情報提供・打診を行い、廃棄物の現物や成分等を確認しながらマッチングを実施。最終的に対象樹脂の特性上、リサイクルは困難でマッチングには至らなかったが、今後の取引・連携の可能性について企業同士共有した。

Ⅰ ものづくり産業支援センターの活動状況

「『松江ものづくり.net』の活用」の進捗状況

- 特集記事は、PR記事のほか補助支援制度活用実績からデジタル化への取組事例の記事を掲載。

令和8年10月20日時点

目標		実績	進捗率
新規登録企業数	3社	2社	66.7%
特集記事掲載件数	20件	19件	95.0%

掲載記事抜粋　※今年度掲載記事一覧は【資料2】p1に掲載しています。

生産管理システム「鉄人くん」自社の業務に合わせたカスタマイズで、工程管理を効率化(株式会社MAKATA)

2026年9月17日



👀生産管理システム「鉄人くん」を活用した業務の見える化

(株)MAKATAでは、2023年から生産管理システム「鉄人くん」を活用しています。

ただ、工程管理ではExcelとシステムを併用していたため、同じ内容をそれぞれに入力する必要があり、工程変更の際にも修正作業が発生していました。

そこで、昨年度に松江市のデジタル化支援事業補助金を活用し、「鉄人くん」に自社の業務に合わせた改修を加え、工程管理の効率化に取り組みました。

✅自社のやり方に合わせて柔軟にカスタマイズ

今回の改修では、機械別・工程別の工数を半自動で作成・入力する機能を追加するとともに、工程別のガントチャートを機械別のガントチャートに組み込むことで、機械ごとの作業予定や進捗を一覧で確認できるようにしました。

過去の製作実績をデータで蓄積・活用　図面管理システム「ズメーン」で現場の情報共有を効率化(曽田鉄工有限会社)

2026年9月17日



曽田鉄工(有)では、昨年度、松江市のデジタル化支援事業補助金を活用し、図面管理システム「ズメーン」を導入しました。

導入前は、工場で紙の図面を使用し、製造時の修正やメモを図面に直接書き込んでいました。しかし、製造が完了すると図面を破棄していたため、過去の製作時の情報を後から確認できないことが課題となっていました。

また、多様な製品を手掛けていることから、過去に製作した製品について製作方法を確認したい場合には、当時の作業を知る従業員に聞いて対応するなど、個人の記憶や経験に頼る場面もありました。

🔍図面を蓄積し、必要な情報をすぐに検索

「ズメーン」の導入後は、仕事を受けたタイミングで図面をシステムに登録し、製造工程を通じて活用しています。

過去の図面をキーワードから検索できるようになったことで、以前製作した製品の図面を必要なときに確認できるようになり、事務所と現場の情報共有もスムーズになりました。

拘りの完全手造りかまぼこ！「穴子入りごぼう巻」(寿隆蒲鉾株式会社)

2026年9月3日



穴子入りごぼう巻





【商品名】

穴子入りごぼう巻

【内容量】

1個入(約300g)

【商品説明】

熟練の職人が、手間ひまかけて一つ一つ丁寧にお造りする、こだわりの揚げかまぼこです。

国産の新鮮なゴボウを芯にした穴子入りのスリ身を、寿隆自慢の「のやきちくわ」で包んで成形しこんがり揚げて甘辛く仕上げました。

【美味しいお召し上がり方】

①5~10mmの厚さにカットして、そのまま生食で、先ずは何も付けずにお召し上がりくださいませ。

②それから、お好みでワサビのみ、又はワサビとお醤油1滴をかけても美味しくいただけます。

新登場！かぼちゃ堀川めぐり(有限会社風流堂)

2026年9月11日



新登場！かぼちゃ堀川めぐり



「堀川」とは松江城下をぐるっととりまくお堀のこと。

この堀を屋根付きの小舟でゆっくり廻るのが松江名物「堀川めぐり」です。

これにちなんだお菓子「堀川めぐり」は、一見どら焼きのようですが

皮はしっとりと柔らかく、また粒あんの塩梅が絶妙とご好評をいただいており、

観光で松江にいらっしゃるお客様のあいだでも、大変人気がございます。

秋のシリーズとして、「かぼちゃ堀川めぐり」が新登場！

国産かぼちゃを使用したバター香るかぼちゃ餡をもっちりとした皮で包みました。

刻みかぼちゃ入り。

定番「堀川めぐり」とのお詰合わせもご用意いたしました！

補助支援制度の執行状況①

- ものづくり産業支援センター　通常版補助金

令和8年10月20日時点

No.	補助金名	活動指標	件数			金額
			目標	実績	進捗率	交付決定額
1	設備導入	支援件数（件）	30	9	30.0%	11,362,000円
2	デジタル化	支援件数（件）	10	6	60.0%	2,346,000円
3	環境負荷軽減活動	支援件数（件）	5	3	60.0%	747,000円
4	人材育成・確保	支援件数（件）	20	19	95.0%	2,736,000円
5	職場環境改善	支援件数（件）	10	10	100.0%	1,274,000円
6	販路開拓	支援件数（件）	30	30	100.0%	11,172,000円
7	新製品・新技術開発	トライアル支援件数（件）	2	0	0.0%	0円
		開発スタートアップ支援件数（件）	1	0	0.0%	0円
		実用化製品化支援件数（件）	1	1	100.0%	770,000円
8	小規模企業者	支援件数（件）	40	43	107.5%	9,333,000円
9	ものづくり関心向上	支援件数（件）	-	1	-	200,000円
合計		-	149	122	81.9%	39,940,000円

【当初】

予算額	40,000,000円
予算残額	60,000円
予算執行率	99.9%

補助支援制度の執行状況②

- 製造業エネルギーコスト削減対策支援事業補助金

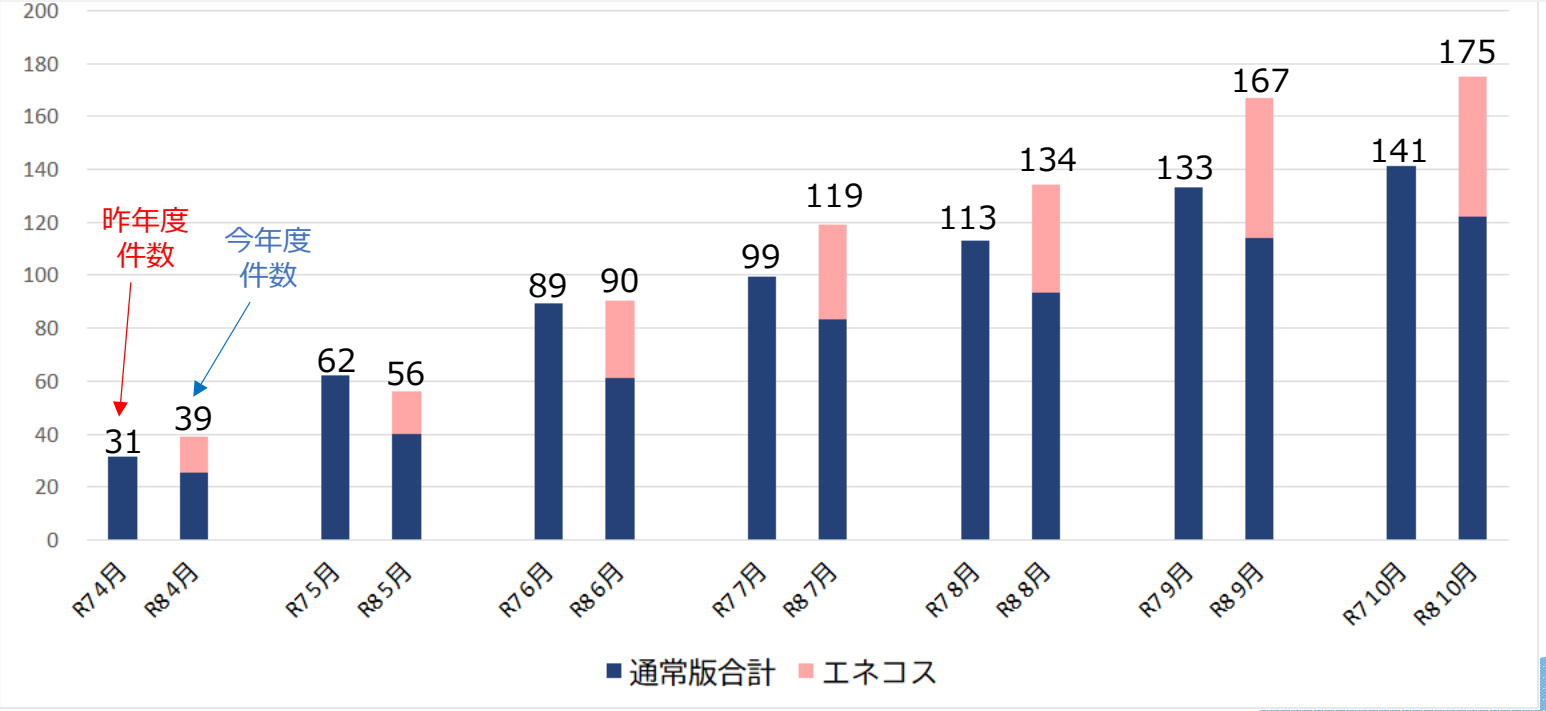
令和8年10月20日時点

No.	補助金名	申請		
		実績	進捗率	交付決定額
1	エネルギーコスト削減対策	53件	100%	80,004,000円

令和8年9月30日で募集を終了

予算額（当初）	62,583,000円
予算現額（調整後）	80,004,000円
予算執行率	100%

- 令和8年度 補助支援制度（エネコス含む）　執行件数推移



Ⅱ 補助支援制度の進捗状況

令和8年度に拡充した補助支援制度の利用状況

- 令和8年4月から新たに下表の補助支援制度を追加・拡充している。

補助金名	事業区分	補助対象とする事業	補助上限額・補助率
デジタル化支援	省力化実践支援	製造現場に関連しない業務における ソフトウェアの導入	上限:20万円　補助率:1/2
職場環境改善支援	熱中症対策	熱中症予防のために新たに実施する取組	上限:20万円　補助率:1/2

令和8年10月20日時点

補助金名	事業区分	交付決定件数	事業の事例
デジタル化支援	省力化実践支援	3件(6件中)	・ラインワークスの有料プランの導入 ・クラウド型エンドポイントマネージャ-の導入
職場環境改善支援	熱中症対策	8件(10件中)	・空調服、スポットクーラーの導入 ・排熱ダクト工事

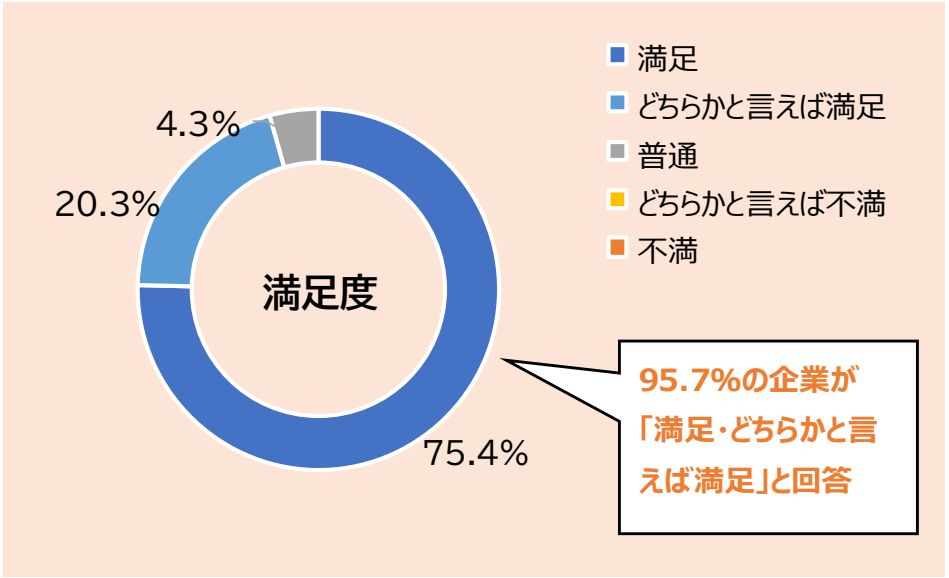
これまで支援が届きにくかった取組への活用が進み、制度拡充の効果が利用件数に表れている

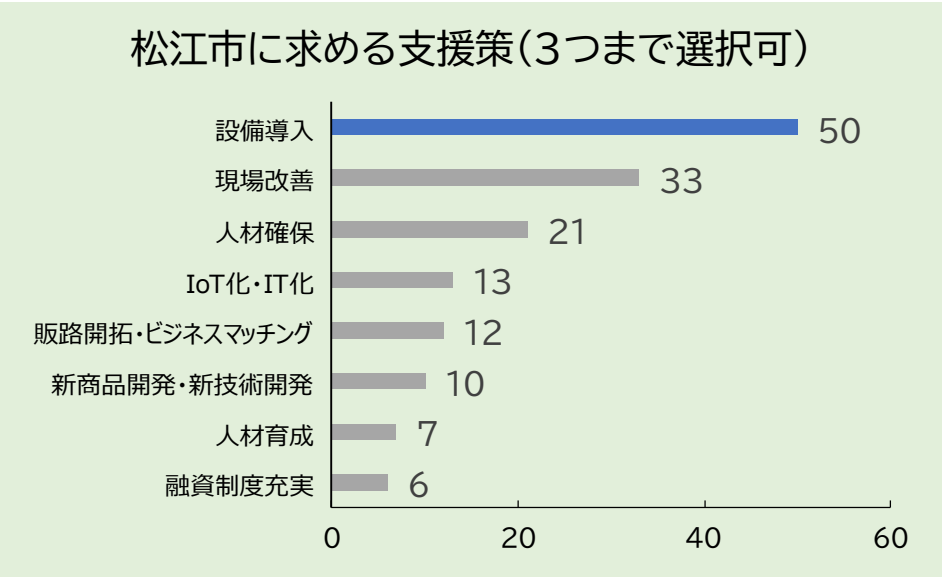
Ⅱ 補助支援制度の進捗状況

補助金利用後の意見（補助金全体の総括）

アンケート配布数：70　回答数：68　回収率：97.1%

令和8年10月20日時点





■「満足」と回答した主な理由

- 県の補助金と併用でき、費用負担を軽減できた。（エネコス）
- 自己負担を軽減し、必要な設備の導入等ができた。
- 手続きが簡素で迅速、職員の対応も丁寧で分かりやすかった。

■「どちらかと言うと満足」と回答した主な理由

- 補助対象額の上限が分かりにくかったが、丁寧な説明で解決。
- 補助率・上限額の拡充を希望。

■改善を求める意見

・補助金の増額申請に係る書類や手続きを簡素化してほしい。
・申請内容に変更がない項目について、計画書と事業報告書での重複入力を省略できるようにしてほしい。
・振込依頼書や口座情報など、過去に提出した書類について、変更がない場合は再提出を不要としてほしい。
・申請手続きのオンライン化
・補助対象経費・補助対象外経費の例を示してほしい。

■新たに創設してほしい補助制度

・老朽化した工場・店舗の改築補修に使える補助金
・古くなった設備・制御装置の更新に使える補助金
・新商品パッケージのデザイン費
・島根県の補助金と併用できる制度の拡充
・賃上げに対する補助金

Ⅲ その他支援活動の取組状況

MATSUE起業エコシステムの構築

ねらい	松江市内の起業家、第二創業者（革新的に事業転換や事業承継をする者）、社内起業家などが挑戦する、革新的なビジネスの実現と成長を伴走支援する「ＭＡＴＳＵＥ起業エコシステム」の構築に取り組む。
活動実績	新設法人数　期間目標　575社（R4～R8計）年間目標　125社　実績　114社　達成率　91.2%　※9月末時点 創業相談支援件数　期間目標 4,850件（R4～R8計）年間目標1,170件　実績　207件　達成率　17.6%　※6月末時点
上期の実績 **（実績値はR8.9月末時点）**	2023年1月に設立したMATSUE起業エコシステムコンソーシアムの事務局として、下記の事業を実施。 **(1)コミュニティ運営** ・いつでも気軽に起業相談ができるAIサポートツール「MIX bot」の運用開始（9/2～） ・起業家向けコミュニティ「MIX」において、アイデアを整理する相談会を開催。(4回/4人参加) →参加者のうち１名が「アクセラレータープログラム」に参加 ・6/6～「しまね起業家スクール」共催（受講者：42人）主催：しまね起業家スクール実行委員会、共催：MATSUE起業エコシステムコンソーシアム ・8/12「高校生ビジネスプラン作成講座」共催（受講者：3人）主催：島根県立図書館、日本政策金融公庫、共催：MATSUE起業エコシステムコンソーシアム ＜主要実績＞起業等イベント参加人数　48人/5回 **(2)事業化支援・人材育成** ・事業化支援プログラム「アクセラレータープログラム」を開催。 →松江市内で起業・新規事業開発に挑戦する事業者4組（6人）が参加。業界調査やアイデア創出ワークショップを実施。 ＜主要実績＞起業等事業化件数　5件　(起業2件、MIXPoC3件）※MIX PoC…市内で行う新規事業開発の実証実験をサポートする制度 **(3)開発支援金** ・R8年3月に新製品や新規サービス開発の試作品作りを支援する制度「開発支援金」を創設（ふるさと納税による寄附金を活用） →R8年10月以降に申請受付を予定 **(4)アントレプレナーシップ教育** ・しまね未来共創チャレンジ（U18/U25の挑戦を応援するプログラム）に補助金による支援を実施。 ＜主要実績＞アントレプレナーシップ教育参加人数　46(人/年)　※【内訳】U18版：36人（14組）、U25版：10人（6組） **(5)プロモーション** ・Instagram、XなどのSNSを活用した情報発信（投稿数：37回、視聴数：21,183） ・PRTIMESでの情報発信（３件） **(５)その他** ・しまね移住フェア東京へ起業創業ブースを出展（9/5） →島根への移住に合わせて起業を検討する方へ各支援制度などをご案内　（島根県信用保証協会、しまね産業振興財団等との共同出展）

MATSUE起業エコシステムの構築

31名サポート中
※2026年9月末時点

属性

・起業家予備軍	11人
・個人事業主	5人
・中小企業経営者	11人
・新規事業担当者	2人
・その他	2人

分野

・IT	11人
・サービス	8人
・ヘルスケア	6人
・飲食	3人
・その他	3人

受けているサポート

・個別相談	22人
・MIXPoC	3人
・アクセラレータープログラム	7人

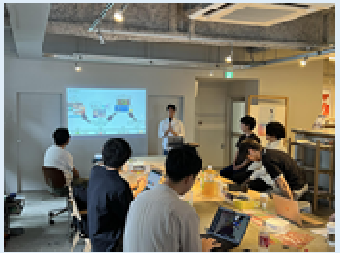
※重複あり

＜本事業による支援を受けた事業者について＞

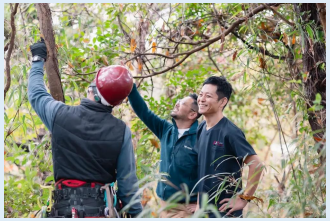


株式会社 やぁMan
代表者
山本　燿司さん

アクセラレータープログラム(2025年度）で支援



2026年2月に法人を設立。
現在はしまね産業振興財団が運営するインキュベーション施設に入居し、データ分析・AIモデル開発・AIプロジェクトの伴走支援等のサービスを展開中。



株式会社
フジイコーポレーション
代表取締役
藤井　寛幸さん

FUJII Corporation

アクセラレータープログラム（2025年度）
MIX PoC（第5号：2025年4月1日付）で支援



2024年9月に法人を設立。
企業の健康経営支援や企業内の健康に関する相談窓口サービスを展開中。
2026年8月、**経済産業省が実施する「ヘルスケア産業基盤高度化推進事業」に採択**され、今後県内の健康経営の普及に向けた実証事業に取組む予定。



日本AI開発センター
株式会社
代表取締役
中尾　香達さん

JADC
日本AI開発センター株式会社

MIX PoC（第6号：2026年6月1日付）で支援

MIX PoC　第６号採択

JADC 日本AI開発センター株式会社 × MATSUE起業エコシステム Matsue Business Ecosystem

2026年2月に法人を設立。
AI開発や企業向けの生成AI導入研修サービスを展開中。
MIXPoCでは、**AIエージェントの実装による業務自動化とフィジカルAI（AI搭載ロボット）の導入による人の心理状態に与える影響の計測・検証に挑戦中。**

Ⅲ その他支援活動の取組状況

IT活用アドバイザー派遣事業①

- 今年度2件派遣を実施（前年度実績1件）
- 活用事例を「松江ものづくり.net」で周知し利用を促進していく。

①マルサ産業株式会社　製造工程の情報共有のデジタル化

相談内容

三菱マヒンドラ農機（株）撤退により売上減少が見込まれる中、強化段ボール事業の拡大と業務効率化を図りたい。現在、図面や生産計画等の情報が社長に集中しており、社内で共有できる仕組みを構築したい。



※東出雲町商工会池田氏にも同席いただきました

1 回目 現状把握

■事業内容、デジタル化の現状・課題をヒアリング
■図面や生産計画等が社長に集中し、属人化している状況を確認
■工場見学を行い、製造現場の状況も確認

2 回目 現状整理・提案

■「三菱マヒンドラ農機（株）撤退への対応」「強化段ボール事業の強化」「営業活動・社内業務の効率化」を課題として整理
■Google Workspace、図面共有ツール、会計ソフト等、複数のデジタル化手法を提案

3 回目 最終提案

課題を**①営業活動の強化、②情報共有の推進、③バックオフィス管理強化**の3つに整理。
まずはGoogle Workspaceによる情報共有・データ一元管理と会計ソフト導入から着手し、段階的に専用ツールの導入を目指す方向を提案。

IT活用アドバイザー派遣事業②

②有限会社マルコウ　　受注・販売管理業務のデジタル化に向けた
システム導入検討



相談内容

受注から納品・請求までの業務を手書きやExcelで管理しており、事務作業の負担が大きい。業務効率化に向けた販売管理システムの導入について相談。

1 回目 現状把握

■現在の受注・出荷・請求業務の流れを確認
■手書きの受注ノートや伝票、Excelによる請求処理など、現状の業務を整理
■販売管理システム導入による業務効率化の可能性を検討

2 回目 現状整理・提案

■現在の業務に適した販売管理システムを検討
■「販売大臣AXクラウド」を候補として、機能や導入費用を確認
■活用できる補助制度について確認

3 回目 最終提案

受注入力から納品書・請求書・売掛台帳・送り状までの一連の業務をシステム化する流れを説明。現場の混乱を避けるため、**一括ではなく段階的な導入を検討**。導入について、企業側が最終的に決定する。

「松江ものづくり.net」についての検討の状況

検討の状況

前回の会議の改修方針を踏まえ、改修に向けた検討を進める中で、改めてサイトのあり方そのものを検討する必要性があると考えています。

検討の理由

①費用面
・既存サイトへの新たな機能の追加やページレイアウト変更にかかる費用が数百万規模になる可能性。
・改修によりシステムが複雑化することで、将来的なバージョンアップ、仕様変更への費用を含めた影響等の検討。

②松江ものづくり.netの役割の見直し
・現在のサイトの活用状況を踏まえ検討が必要。
・より効果的な企業マッチング手法等の再検討。
・広域的なものづくり企業掲載サイトである「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり.net」の活用の可能性。

③運営方法
・効果的なサイト運営のためには、外部委託の可能性も検討が必要。

今後の進め方

現段階では、改修の実施とせず、幅広い選択肢から今後の対応を検討することとします。
引き続き検討を行い、今後の対応やスケジュールについては改めてお知らせします。

ビジネスマッチング商談・展示会2026 in 境港

- 毎年実施しているビジネスマッチングを今回は境港市で実施
- エントリー企業数は243社、商談件数は427件、その他一般来場者数は197人
- エントリー企業数は増加(前年比111.5%)、商談成立企業数192社（前年比114.3%）
- 台湾輸出商談会も共同開催(2年目)、山陰両県の食品関連事業者39社がエントリー、6社のバイヤーと商談を実施

開催概要

■ 事業概要

ものづくり企業を中心に中海・宍道湖・大山県域内外から幅広くエントリーを募り、企業間の取引拡大、連携強化を図る山陰最大級の商談・展示会

■ 日時　令和8年10月22日（木）9:30~16:30

■ 場所　夢みなとタワー



年度	エントリー企業数		商談数	受注企業１社あたりの商談件数
	受注企業	発注企業		
R8	161社	82社	427件	2.97件
R7（出雲開催）	139社	79社	429件	3.09件
R6（安来開催）	125社	70社	348件	2.78件

三菱マヒンドラ農機の支援状況

- 『従業員の再就職・生活不安の払拭』『協力企業の事業継続』の2つを柱に、島根県、松江商工会議所、商工会、島根労働局、ハローワークなどの関係機関と、それぞれにかかる支援チームを設置

1.『就職支援チーム会議』

・従業員の再就職に向けて、求人情報の集約・マッチング
・雇用保険・国民年金など当面の生活に関わる内容の説明会開催

【就職支援の現状（令和8年10月20日時点）】
〇県内在住従業員の退職者数 385人
〇県内在住従業員の再就職内定者数 303人(78.7%)
〇求人募集状況　360社から1,826人の求人

2.『協力企業支援チーム会議』

・島根県と松江市の支援施策(資金調達、販路拡大、設備投資)の迅速な広報・周知と、その活用に当たっての伴走支援
・関係機関が持つ広域的なネットワークを生かした販路の開拓

令和8年10月20日時点

支援内容	県申請済	市申請済	市申請予定	検討中
営業代行等を活用したものづくり産業販路拡大支援事業補助金	4件（4社）	0件	4件（4社）	4件（4社）
展示会出展支援事業補助金	8件（4社）	2件（1社）	6件（4社）	0件
ものづくり産業生産プロセス変革等支援事業補助金	12件（12社）	0件	12件（12社）	0件

※協力企業　14社

第6期アクションプラン(2028-2030)について①

- アクションプラン策定スケジュール

タスク一覧	R8 11月	R9 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R10 1月	2月	3月
現状分析・課題抽出	→		製造業アンケート調査 →											
	▼		企業ヒアリング											
第１章-第２章検討	製造業アンケート作成			→										
第３章検討							→							
原案まとめ										→				
ものづくり振興会議		●					●			●				●
公表														★

（今期参考）【第５期松江市ものづくりアクションプラン目次】
第１章 「第４期アクションプランの取組総括と課題」・・・結果・総括・現状分析
第２章 「ものづくり産業支援センターの取組目標、施策指針」・・・取組目標・施策指針
第３章 「第５期アクションプランの支援策」・・・センターの活動・補助支援策等の取組内容
後　記 「アクションプランの推進とSDGsの推進」・・・アクションプランの推進・SDGsの推進

第6期アクションプラン(2028-2030)について②

- アンケート調査の目的

次期アクションプランの改定に向け、松江市内の製造業事業者を対象にアンケート調査を実施する。
主に、市内製造業の現状の分析、課題の抽出、本市産業振興施策に対する要望・評価に加え、人手不足や物価・エネルギー価格の高騰、主要取引先の事業環境の変化など、企業を取り巻く環境の変化への対応状況や今後の意向について意見を聴取し、制度設計に生かしたい。 また、松江ものづくり.netの活用状況についても意見を聴取する。

アンケート調査概要	
調査対象企業及び企業数	市内製造業者350社程度
調査時期	令和9年4月～7月
調査項目	Ⅰ.事業所概要 資本金、創業年、直近売上高、従業員数、事業内容、強み・弱み等 Ⅱ.業況、経営環境について 市内製造業の現状・課題、今後の事業展開、産業振興施策への要望等のほか、企業を取り巻く環境変化への対応状況等について等 Ⅲ.松江市の産業振興施策について 松江ものづくり.netの活用状況、現行の支援策の評価、要望について等